

マサコラム 19

ゴミを入れればゴミがでる Trash In Trash Out

最近のコンピューターの目まぐるしい発展?は時々刻々急速に変化する情報化社会にとって無くてはならない強力なツールである事は論を待たない。データベースの構築、判断の為の演算処理速度はある面、人間の脳を上回る感がある。人間の行動を決定づける機能を哲学的、心理学的、生理学的に分解すると、コンピューターによる人工知能と同様である。そこで「貴方はこれからどうするのか?」との日常的、問いに対して考えてみたい。その際に目の前に起る事実の認識は3つに大別される。「反応」するか「対処」するか「熟慮」するかで①「捏造された事実」②「現われた事実」③「実際的事実」に大別される。「反応」とは新しい現象に対して過去の経験で対処したデータベースと照らし合わせて本能的、瞬間的に生じるものである。本能的判断つまり思考の無い無意識の行動は誰でも経験のある事で、お酒を飲みすぎて前後不覚の状態でも岐路につく、無意識判断です。脳のデータベースが過去の行動パ

ターンから体に指令を発して行動させる。それ自体は生物学的に生きる為に必要なものであり無視はできないものである。ところが厳密には過去の状況と現在の状況が全く同じ事はないことから、実際的事実を客観的に捉えない主観的なものである。つまり、思い込みである「捏造された事実」となる。例えば、過去のトラウマを持つ人が過大に反応するケースが典型的である。問題は入力を選別しないとコンピューターのネット検索に出てくるspam(ゴミ情報)と同様のものが我々の脳に蓄積されて、「ゴミを入れればゴミがでる」結果として不確かな情報で判断、行動して、新しい創造を作り上げる事になる。我々の仕事である構造設計も不確かな断層、地盤情報を元に不確かな地震、不確かな基準、不確かなソフト、不確かな図面、不確かな工事等々中で真実らしい結論を導き出して「安全な建物?」を日々、創造し続けている事を深く肝に命じる必要がある。つまり、「捏造された事実」に頼る事無く「現われた事実」を論理的、理性的、客観的に且つ、直感的(感性的)に熟慮の上、少しでも「実際的事実」に近い安全メカニズムを持つ建造物の創造に傾注する事が重要である。

真崎 雄一

**誠実、努力、技術力を信念として
高環境創造を目指す**



有限会社 SPC設計
一級建築士事務所
代表取締役 園部 隆夫

〒260-0013 千葉県千葉市中央区中央3丁目17番1-1011号
TEL: 043-310-3824
FAX: 043-201-1228
E-mail: sonobe@spc-sekkei.co.jp

有限会社 トマト二構造設計
一級建築士事務所
代表取締役 筈谷 修作

構造設計監理
耐震診断・耐震補強設計

〒263-0043
千葉県稲毛区小仲台
7-4-12-102

TEL
043-309-7370
FAX
043-309-7382
Mail
toma2531@af.wakwak.com



場所打コンクリートアウトフレーム補強建物

JSCA千葉ニュース(夏)

発行(社) 日本建築構造技術者協会 JSCA千葉(広報委員会)
〒261-0004千葉県千葉市中央区中央4丁目8番5号建築会館5F

TEL 043-225-2181
FAX 043-201-1228

JSCA・千葉 第13回総会開催される

平成22年6月3日(木) 於:三井ガーデンホテル
千葉3階藤の間、午後1時30分定刻に総会の開催が
宣せられた。総会に先立ち、斎藤代表から、3期6年の代表を
勤めさせてもらったことのお礼が述べられた。



出席39名、総会成立が報告され、定款に従い斎藤代表が議長席につき、議長一任の声により、書記に市原嗣久氏、議事録署名人に斎藤利彦氏、西澤博文氏が指名された。

議事に入り、総務担当の佐藤暢彦氏から第一号議案2009年度事業報告の懇切丁寧な説明があり、続けて第二号議案の2009年度決算報告が会計担当の向後勝弘氏から説明された後、監事の飯島宏治氏から監事を代表して「適正かつ正確である」との監査報告がなされた。

質疑に入り、1人から「適合性判定の内部監査員とは」の質問に斎藤代表から「建築センターの適判では第3者の監査員を付ける」との説明がなされた。早速議場に諮ったところ、賛成拍手多数で承認された。

引き続き、第三号議案2010年度事業計画案を佐藤総務から、第四号議案2010年度予算案を向後会計担当からそれぞれ説明がなされ、一人から「業務委員会が新設されているがその内容は」の質問に、園部副代表から「JSCA千葉の方向性を協議する会を考えている」との回答がありました。早速議場に諮ったところ、賛成拍手多数により承認された。第五号議案として、役員改選の議事に入った。議長が立候補希望者を募ったが申し出がなかったところ、議長一任の声により、斎藤代表から役員候補者及び役割案の提案があり、賛成拍手多数で承認された。以上により本年度総会を滞りなく終了し、加藤義道司会から閉会宣言がなされた。時に14時30分であった。(梶山誠治)

JSCA千葉役員会議事録抜粋(佐藤)

役員会	富島 誠司	1. JSCA本部および関連他団体についての報告	について	審査について
代表	筈谷 修作	2. 検討事項	(2)千葉県建築設計関連6団体連絡協議会参	(3)千葉県協賛広告の申し込みについて
副代表	榊原 裕繁	(1)JSCA保険制度説明会の実施について	(3)若手向け勉強会の再開について(年度内5回程度開催)	第4回7月29日 (15:00~17:00) 出席:園部代表他15名
業務委員会	真崎 雄一	(2)鉄骨工業会意見交換会の実施について	(3)JSCA千葉総会準備について	1. JSCA本部および関連他団体についての報告
総務委員会	若手研修推進WG	(3)本部会計報告について	第3回7月1日 (16:00~17:30) 出席:園部代表他13名	2. 検討事項 (1)各委員会の年度内活動方針の確認 (2)JSCA・千葉ホームページでの市民相談の受付について
	佐藤 暢彦	2. 検討事項	第2回5月12日 (16:00~17:30) 出席:斎藤代表他17名	1. JSCA本部および関連他団体についての報告
	秋山 秀之	(1)JASS5の勉強会実施		2. 検討事項 (1)適合性判定の事前相談について (2)意匠・構造の平行
	木村 将士			
	関 和宏			
	豊岡 重人			
	安田 良一			
	西原 忠			
	加藤 義道			
	佐藤 暢彦			
	飯島 宏治			
	齋藤美佐男			
	平成22年度			
	第1回4月15日			
	(16:00~17:30)			
	出席:斎藤代表他17名			

編集後記(2010.9.14)
編集が遅れて、民主党の代表選挙の日と重なってしまった。あるいは記念すべき日に当たっているのかも知れず、ならば発表するに幸いだ。9月5日、経緯が不明であるものの、サポーター票なるものをある食堂の中国人女性店員が持っている、その行使の違法性について店主が忠告していたのを目撃した。外国人が選挙権を持っているという噂は本当だった。この選挙は野党の党首選ではなく、総理大臣を決める選挙であるから、日本の命運を外国人にゆだねかねない怖ろしさが現実のものとなってい

る。/世の中というものは両端で旗を振る各5%の白と黒と、間で追隨する90%の灰色によつて構成される巨大なフラクタル構造と見なせるものと仮定する。これは国権を支配するに足る員数は構成員の5%で可能である事を意味する。TV、新聞社、その他、具例を挙げようとするこのような活動は用意周到なため「不起訴不当だが証拠不十分である」ことが多い。/さてこの頃の日本社会の不安はひとえに景気問題であるという外観を呈するが、実は各フラクタル構造の白が、正義を放棄して黒化する現象が生み出すものだと考えられ

る。即ち結果における信頼の喪失を挙げることができる。/白(三権)が正義を放棄する理由は収賄と恫喝という定形があるようだが、それにしても司法は人々の正義に対する渴きを知らなすぎるのだ。ヤリ放題の「無法地帯」が存在して為す術が無い様に見える、これが国民の実感だ。/世界規模での食料問題、飲料水問題、等々の解決に取り組むとき国家を信じなくなった民をどのようにリードできるのかな。/今、地球を目指す冥王星の軌道の外側に有る長径240kmの物体とは救世の箱船なのか、ソドムの火なのか、見間違いなのか。(安田)